

SOIL APPLICATION

S

土壤散布資材



Rooted in Science

ディフェンス・マン

- ◆ ディフェンス・マンは、土壤散布用に独自の技術でキレート加工したマンガン補給用資材で、25%という高いマンガン含有量を誇ります。
- ◆ 有機的にキレート処理されたマンガンは、速やかに植物に吸収されると同時に、土壤微生物の活性を格段に改善します。超微細なフミン酸を配合し、栄養素の吸収効率を向上。さらに、微生物活性の向上、水分の動きを良くする土壤改善効果も得ることができます。
- ◆ マンガンとマグネシウムのバランスを考慮し、マグネシウムも含んでいます。
- ◆ ディフェンス・マンは、有機酸とキレート・マンガンを含んだ資材です。土壤のマンガン不足を修正し、芝草体内のマンガン欠乏を改善します。

ディフェンス・マンの効果

- 葉緑素の活性改善
- 耐病性の向上
- ストレス耐性の改善強化に
- 必要なリグニンの生成
- エネルギー生成に必要なリン酸の有効利用
- 酵素活性の向上



ディフェンス・マン

ゴルフ場では、マンガンは常に不足しがちです。

マンガンの重要性は言うまでもありませんが、病原菌の活動が活発になる時期や、高湿度により呼吸障害が発生する時期などには、芝草の耐病性とストレス耐性を上げるために、必要不可欠な微量要素です。

マンガンを十分に補給する事により、テーク・オール・パッチ(立ち枯れ病)のダメージが70%減少したという研究結果が出ています。

(ラトガーズ大学・米国ニュージャージー州)

成分表

マンガン (Mn)	25.00%
マグネシウム (Mg)	0.50%
規格	0.68 kg × 4
性状	粉末(水和剤)

ディフェンス・マンに含まれる成分の役割

マンガン:	多数の酵素の形成に必要不可欠。それらの酵素は触媒として、葉緑素の生成、呼吸による酸素の放出、根組織の成長、細胞のリグニン化を促進。
マグネシウム:	葉緑素(クロロフィル)合成には必要不可欠。又、アミノ酸生成・糖類生成に使われる窒素・鉄の有効利用に必須。
有機酸:	植物の栄養素吸収を助け、土壌微生物活性を改善。

プロ使用ガイドライン

推奨施用量 : 0.15~0.30g / m² (定期施用)
0.80g / m² (欠乏時)

散布間隔 : 14~28日 (※効果の持続期間は土壌環境などによって異なります)

推奨散布水量: 80ml / m²以上 (※軽く後散水をしてください)

投入順序 : ②

※ 一缶に680gの水溶性のパウダーが入っています。タンクミックスする前に、缶の3/4まで水を入れ、蓋をしてから缶を振って、十分に攪拌して下さい。

使用上、保管上の注意:

- フロラティン社資材との混合手順は別紙「タンクミックスの手順」をご参照ください。
- 他資材との混合使用は、必ず事前に混和性、効果をテストで確認してから行ってください。
- タンクミックス時は必ずよく攪拌し、散布作業中も攪拌を続けてください。
- 希釈した溶液はその日のうちに使い切ってください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 一度開封した製品を保管する際は密閉し、高温多湿を避け、できるだけ早く使い切ってください。

Ver. 2016.01.07



Rooted in Science

フロラティン・ジャパン株式会社

〒104-0042 東京都中央区入船 2-10-7-4F

TEL: 03-3523-4882 FAX: 03-3523-4883

取扱代理店